



Crowdcredit

クラウドクレジット株式会社

2018年4月6日

【為替ヘッジあり】東欧金融事業者支援ファンド 30号

運用状況についての満期時報告

表記ファンドはこのたび満期償還を迎えましたので、満期時報告を以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額	: JPY 17,100,000.-
うち投資総金額	: JPY 15,954,300.-
うちヘッジ担保金	: JPY 855,000.- (USDJPY 109.92)
うち運用手数料	: JPY 290,700.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2017年9月5日
グループ会社貸付金額	: EUR 122,068.09
適用直物 EURJPY レート	: 130.70
適用先物 EURJPY レート	: 129.97
グループ会社貸付期間	: 2017年9月5日から2018年3月25日
資金運用日数	: 201日
グループ会社貸付金利 (年利)	: 10.8%

===運用終了時の状況===

予定グループ会社返済利息額	: EUR 7,259.87
実現グループ会社返済利息額	: EUR 7,259.87
運用目標達成率	: 100.0%
実現元利金返済額	: EUR 129,327.96
グループ会社負担外為両替手数料	: EUR 0.00
出資者返済原資	: EUR 129,327.96
実現直物 EURJPY レート	: 129.97
ヘッジ担保金払戻額	: JPY 814,319.- (USDJPY 104.69)
円貨換算出資者返済原資	: JPY 17,623,118.-
ファンドの実現利回り	: 5.5% (期間: 2017年9月5日~2018年3月31日)
募集時期待利回り	: 6.2% (期間: 2017年9月5日~2018年3月31日)

運用者コメント

本ファンドはユーロ建てで当初の予定通りの期待利回りを達成して満期を迎えることとなりました。一方で、運用開始時に元利金部分に円ヘッジ取引をしていた（約定レート：1ユーロ当たり129.97円）ため、運用開始時に1ユーロ当たり130.70円だった換算レートが運用終了時に1ユーロ当たり131.15円となり円安が進行した中で為替差益を享受することができませんでした。それらを踏まえた円建ての運用成績は全体で523,118円の利益（=17,623,118円 - 17,100,000円）となりました。

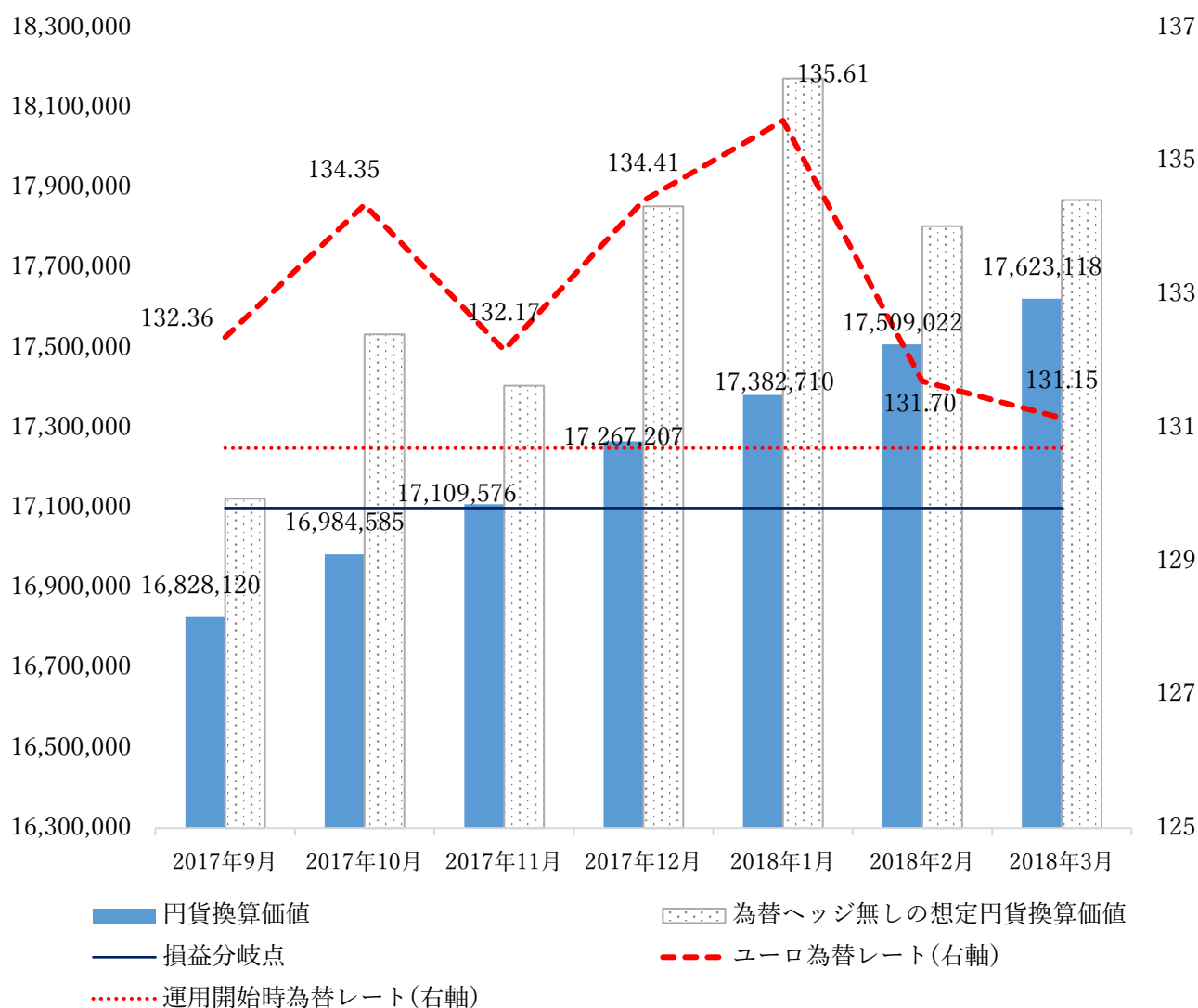
なお、実現収益がファンド販売時に見込んでいた6.2%の期待利回りを下回り5.5%となった理由として、ヘッジ取引におけるコストの増加とヘッジ担保金にかかわる為替差損が上げられます。ヘッジ取引におけるコストにつきましては、ファンド販売時点で見込んでいたユーロ・円の為替予約コストに対してファンド運用開始時の為替予約コストが増加いたしました。具体的には、ファンド販売時点の想定が「円プレミアム50銭（=ユーロ・円の直物レートに対して50銭円高の価格で為替予約が可能）」だったのに対して、実際のコストが「円プレミアム73銭（=ユーロ・円の直物レートに対して73銭円高の価格で為替予約が可能）」となりました。これにより、当該ファンドにおいて出資者返済原資EUR129,327.96に対して29,745円のコストがファンド販売時の想定よりも多く掛かりました。さらに、ヘッジ取引開始時に担保金として営業者に預託した855,000円は、当時の為替レート（1ドルあたり109.92円）でドルに交換されて預託されておりましたが、分配時点では為替レートが1ドルあたり104.69円と円高に進行したため、40,681円（=855,000円 - 814,319円）の為替差損が発生いたしました。

為替予約コストは市場環境によって変化するため当社で完全にコントロールすることは不可能ですが、投資家様の受け取られる収益を最大化できるよう、為替予約取引においてコストを削減すべく最善を尽くしております。為替変動リスクを限定しながら信用リスクに見合う収益を確保する投資案件として投資家様のお役に立てるよう邁進させていただきます。

投資家のみなさまにおかれては、今後とも東欧金融事業者支援ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

運用期間のファンド価値の推移 (単位：円)

運用期間中の価値変動グラフ



<会社概要 (クラウドクレジット株式会社) >

【代表者】 杉山智行

【設立年月日】 2013年1月

【資本金等】 1,234,548千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入